

令和7年(2025年)9月定例会・一般質問

【本市が世界中からお客様を招き続ける観光地を目指す中での、トイレとごみ箱の事情について】

◆大川秀徳

全国の観光地はトイレとごみ箱の問題を抱えていますが、本市の観光地のトイレとごみ箱に問題があるか、以下2点を伺います。

(1) やきもの散歩道のトイレの現状と課題はどうか。

(2) やきもの散歩道のごみの現状と課題はどうか。

◎経済部長

やきもの散歩道は常滑駅からもほど近く、特に土管坂や見守り猫「とこにゃん」は、国内、海外問わず人気のフォトスポットになっており、昨年度は約28万6,000人の観光客が訪れる観光スポットでございます。

また、観光推進を図る上で、トイレやごみ箱への対応は観光客の満足度に影響するものとされており、全国の観光地において様々な取組や工夫がなされているところです。

さて、1点目のご質問、やきもの散歩道のトイレの現状と課題についてでございますが、現状、やきもの散歩道のAコースで、どなたでもご利用いただけるトイレは、陶磁器会館、廻船問屋瀧田家、登窯広場展示工房館にございます。また、このほか、今年3月までは土管坂休憩所のトイレも利用可能でしたが、運営者の撤退に伴い現在は休館している状態です。このうち登窯広場展示工房館のトイレは屋外にあるため、休館日や営業時間外でもご利用いただけます。

次に、トイレについての課題でございますが、現状、市や観光協会に、トイレについて不満のご意見が多数寄せられているような状況ではございませんが、ユニバーサルデザインといった視点や多機能トイレの設置数などについては課題があるものと認識しております。

次に、2点目のご質問、やきもの散歩道のごみ箱の現状と課題についてでございますが、やきもの散歩道ではごみはお持ち帰りを原則とし、飲食物を提供する店舗においては、各店舗で回収、処分を行っていただいております。

食べ歩き等によりごみが発生することはございますが、現状では散乱などの大きな問題は生じておらず、多くの観光客や店舗の皆さんがこの方針にご協力いただけているものと認識しております。今後もポイ捨てなどの迷惑行為が発生しないよう、引き続き啓発活動に努めてまいります。

いずれにいたしましても、やきもの散歩道は市民の方が生活するエリアに存在していることから、本市といたしましては、住民の皆様にとっても観光客の皆様にとっても快適で過ごしやすい環境を整えていくことが重要であると考えております。